

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

ベンラファキシンの忍容性に関する後方視的研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山 隆（病院長）

【研究責任者】 田中 守（薬剤部長）

【研究の目的】

過去に当院を受診され、うつ症状に対して、抗うつ薬であるベンラファキシンまたはデュロキセチンが処方された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、副作用や有効性について研究を行うことといたしました。この研究は抗うつ薬における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2016年1月から2022年12月に愛媛大学医学部附属病院で、うつ症状に対してベンラファキシンまたはデュロキセチンが処方された患者さんを対象に、処方開始から1年間のカルテ情報を収集します。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、入院の有無、抗うつ薬の処方歴、併用薬、処方の中止理由、副作用、血液検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個

人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 峠 雄太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 峠 雄太

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5738